

三原市福祉のまちづくり推進協議会

【団体紹介】

本会は、すべての市民が生活しやすい福祉のまちづくりを目指しています。障害のある人・高齢者など、生活のしづらさを抱えた人たちが、一人の市民として、その人らしく、地域で暮らすことができるように、障害者団体、ボランティア団体、社会福祉施設などさまざまな団体や機関が連携、協働し活動を推進しています。

【活動紹介】

平素から三原市社会福祉協議会と連携して福祉啓発活動を行っており、市内公共施設のユニバーサル化への提言や学校における福祉教育の推進を行っています。

奇しくも2011年3月12日、東日本大震災の翌日に「障害のあるひと・家族の災害時のそなえ」研修会を実施し、以後、当事者とご家族の防災意識啓発に取り組んできました。

また、2016（平成28）年には「障害のある人のニーズに対応した福祉避難所」の設置を要望する提言書を三原市長に提出し、当事者と家族の切実な声を届け、実現を強く要望してきました。

2018（平成30）年災害の際には、本会が三原市社会福祉課に働きかけて三原市版 DWAT を立ち上げ、京都 DWAT 創設メンバーも急遽参加して下さり、相談支援専門員、社会福祉士、保健師がチームを組んで各避難所を訪問調査し、福祉ニーズに基づいた支援を行ったところです。

その経験を元に、翌年の2019（平成31）年に、三原市地域自立支援協議会において防災部会が立ち上がり活動開始につながりました。

さらに、福祉防災を三原市の施策に反映するため、本会も三原市障害者プラン策定部会にメンバーとして参画し、検討作業は策定年次にかかわらず、毎月開催しているところです。

また、広島県の実施する障害者の相談支援専門員研修において、福祉防災を地域福祉の視点から研修講義を行い、福祉防災の啓発と県内のネットワーク構築の支援を行っています。

2023（令和5）年には、地域の自主的な防災力の向上をめざし、三原市市内寺院が一時避難所として機能できるように支援し、飲用可能な水源をもつ市内4ヶ寺が発電機を自主的に設置して、地域における電気と水、ライフライン確保、福祉的避難所機能の充実など、さらなる福祉防災の確立と支援に取り組んでいるところです。

2011年3月のあの日 安心・安全な“暮らし”の「場」づくり

地域支援
福祉でまちづくり

防災・減災とコミュニティ・ソーシャルワーク

「三原市福祉のまちづくり推進協議会」の活動



障害のある人・家族の災害時のそなえ研修会 2011(H23).3.12



被災地障がい者の支援活動をととして見えたもの研修会 2012.(H24)10.5~10.6

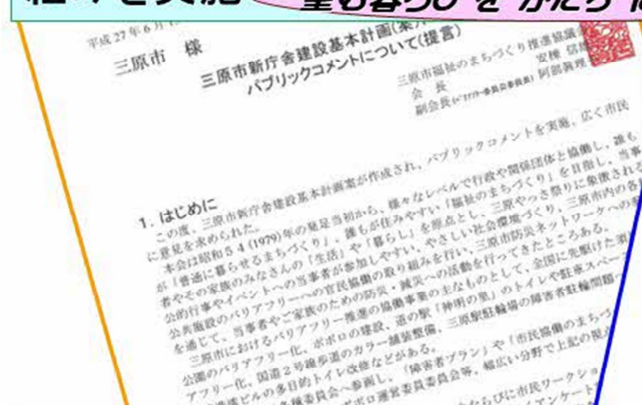


当事者の視点から、三原市への
具体的な提言・要望と協働の取
組みを実施

「望む暮らし」を“かたち”にするために…

「三原市福祉のまちづくり推進協議会」の活動

地域支援
ソーシャル・アクション
福祉でまちづくり



「三原市新庁舎建設」への
アンケートを関係団体に実施
し、意見を取りまとめ、
三原市に具体的に提言
2015(H27).6.15
ユニバーサルデザインを
協議し完成

キーワードは
「丸ごと」「我がこと」
「協働」

「障害のある人のニーズに
対応した福祉避難所」設置
の要望を市長へ直接に提出
2016(H28).10.24
関係部署と協議し実現

出会い、協議して目的を共有し、協働する「場」づくり

三原市福祉のまちづくり推進協議会

**地域支援・市民協働
ソーシャル・アクション**

福祉“で”まちづくり

出会い、協議して目的を共有し、協働する「場」づくり

担当課は
国土交通省
三原市建設部

キーワードは
「丸ごと」「我がこと」
「協働」

どんな「まち」で、どんな「人」と、
どんな「暮らし」をしたいの？

「三原市福祉のまちづくり推進協議会」の活動

道の駅みはらバリアフリー化
国土交通省・三原市との意見交換会 2010(22).12.22

“望む暮らし”を“かたち”にするために…

**地域支援・市民協働
ソーシャル・アクション**

福祉“で”まちづくり

道の駅みはら
現地見学会
2011
(H23).12.14

担当課は
国土交通省
三原市建設部

キーワードは
「丸ごと」「我がこと」
「協働」

「三原市福祉のまちづくり推進協議会」の活動

“望む暮らし”を“かたち”にするために…

**地域支援と
制度化・計画化**

担当課は
社会福祉課

三原市における障害者プラン策定の歩み

ひとりの“市民”として
“普通”に暮らせる
まちづくり

出会い、協議して目的を共有し、協働する「場」づくり

1. 三原市自立支援協議会の「障害者プラン策定専門部会」で策定のための計画を立案
2. 行政資料、アンケート調査、ヒアリング、**ワークショップ**をもとに現状とニーズを把握し分析、方針を確認し具体案を提言
3. 他の福祉計画や長期総合計画と整合性をとり、三原市の策定委員会、三原市議会全員協議会を経てパブリックコメント実施

「望む暮らし」「ありたい姿」を明らかにして、
地域(コミュニティ)全体で共有する